
第 16 回強制動員真相究明全国研究集会

テーマ 「強制動員真相究明20年の活動と課題」

日 時 2024 年 7 月 27 日(土) 13:30~17:00

場 所 東京都文京区民センター 3A

(地図は下記を参照ください)

https://www.yu-cho-f.jp/wp-content/uploads/kumin_map.pdf

参加費 一般 1000 円(学生無料)※現地参加・オンラインとも

<開催にあたって>

強制動員真相究明ネットワークは 2005 年に結成されました。2004 年に韓国で「日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会」が作られました。韓国政府の委員会として強制動員被害者からの申告を受け付け、その実態を調査するのです。

韓国の委員会の活動に対応して、本来であれば日本政府内に同様の委員会が作られるべきでしたがそうはなりません。そんななかで日本の市民サイドで作られたのが強制動員真相究明ネットワークです。

2005 年 7 月 18 日、東京韓国YMCAでの設立総会を開きました。そしてそれ以降、ネットワークは活動を続けてきました。

「全国研究集会」は、第 1 回(2006.11.3)を福岡で開催して以降、②2007 年東京、③2009 年神戸、④2011 年神戸、⑤2012 年東京、⑥2013 年東京、⑦2014 年京都、⑧2015 年山口、⑨2016 年名古屋、⑩2017 年長野、⑪2018 年沖縄、⑫2019 年群馬、⑬2021 年 ZOOM(富山)、⑭2022 年佐渡、⑮2023 年宇都宮・足尾で開かれました。研究集会以外にもフィールドワーク、書籍出版、ニュース発行、声明文発表等を行ってきました。

今回の研究集会では 20 年になろうとする真相究明ネットの歩みを振り返り、次のステップに進むものしたいと思います。

強制動員真相究明ネットワーク共同代表 飛田雄一

<集会プログラム>

<強制動員真相究明ネットワークの 20 年>

報告ー飛田雄一(強制動員真相究明ネットワーク共同代表)

ネットワーク呼びかけ人、韓国からの報告・コメント(予定)

<韓国徴用工裁判の現状と課題>

報告ー「日韓請求権協定と過去克服の課題」太田修(同志社大学)

強制動員裁判支援団体(日本製鉄、三菱重工、不二越)

強制動員問題解決と過去清算のための共同行動から(予定)

＜強制労働の歴史否定を問う＞

報告―竹内康人(強制動員真相究明ネットワーク会員)

各地の取組み 佐渡鉱山、群馬追悼碑ほか(予定)

＜朝鮮人遺骨問題の現状と課題＞

報告―小林知子(強制動員真相究明ネットワーク会員)

各地の取組み 長生炭鉱ほか(予定)

▽申込みフォーム▽

集会参加の申込みは下記フォームからお願いします。

<https://forms.gle/6PLtkCt3n63Gbc2U8>